

真夏の“涼”空間が登場! 海拔250mで水に入る爽快感を味わえる
天空の水族館「スカイ アクアリウム2011」

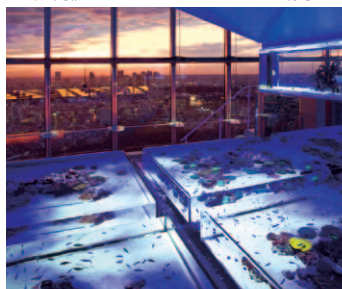
2011年7月15日(金)～9月25日(日)開催



六本木ヒルズ展望台・東京シティビューは、夏の恒例イベント「スカイ アクアリウム2011」を2011年7月15日(金)から9月25日(日)まで開催します。「スカイ アクアリウム」は“空の世界=眺望”と“水中の世界=アクアリウム※1”が融合合う天空の水族館で、海拔250mの空を魚が泳いでいるように見えるのが特長です。

4回目※2となる今年のテーマは「クール・エンターテインメント」。見た目に涼しいのはもちろん、水の中に入るような爽快感をも体感できる、体験型アクアリウムにパワーアップしています。観るアクアリウムから、感じるアクアリウムへ——進化することで、シリーズ史上最低電力でありながら、最高にクールな涼空間を実現しました。

過去に開催されたスカイ アクアリウムの様子



※1 アクアリウムとは、海水や淡水の生態系を維持しながら、魚や珊瑚、水草、岩などを用いて水槽の中につくる美しい水中世界のことです。

※2 初開催は2007年。以降、毎年内容を一新して開催し、2009年までに累計75万人の観客を動員しました(2010年は「恐竜展」のためにお休み)。2009年に行ったアンケートでは、98%の人が「また来たい」と回答しています。(自社調べ)

POINT 1

水の中に入る爽快感を味わえる! 真夏のクール・エンターテインメント

3Dのような奥行き感のある「アクアリウム・シアター」や、会場に一歩足を踏み入れるとそこは水の中で、その水の中にさらに“水の惑星”地球があるという不思議な空間「オアシスブルー・プラネット」が登場します。見た目に涼しいのはもちろん、水の中に入るような爽快感や感動も味わえる、体験型アクアリウムです。

POINT 2

シリーズ初! 東京スカイツリーと東京タワーがそびえる空を魚が泳ぐ

今シーズンは、2大タワーを望む展望台エリアに横長水槽が登場します。色とりどりの魚たちが日中は摩天楼そびえる空を、夜は煌めく夜景の中を泳ぎます。

イベント名 …………… 天空の水族館「スカイ アクアリウム2011」

開催期間 …………… 2011年7月15日(金)～9月25日(日)

会場 …………… 東京シティビュー(六本木ヒルズ 森タワー52F)

営業時間 …………… 11:00～22:00 / 金・土・祝前日は11:00～23:00
(最終日9月25日は17:00まで) ※最終入館は閉館30分前。

料金 …………… 一般 2,000円 / 高校・大学生 1,500円 / 4歳～中学生 800円 ※展望台の入館料を含みます。

総合プロデューサー …… 木村英智(株式会社エイチアイディー・インターアクティカ 代表取締役)

サウンドプロデューサー …… 井出裕昭(有限会社エル・プロデュース 代表取締役)



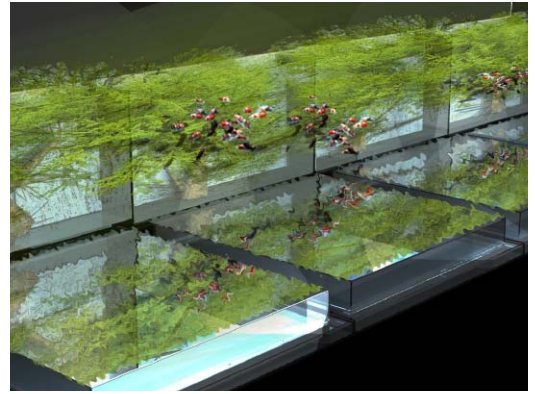
ZONE
1

アクアリウムとプロジェクションマッピングが融合
アクアリウム・シアター

「水中四季絵巻～the four seasons aquarium～」

鯉と四季折々の日本の景観が、アクアリウムとプロジェクションマッピング※で融合します。例えば春は、満開の桜の中を鯉が優雅に泳ぎ、風が吹くと花びらがハラハラと手前に落ちてくるなど、3Dのような奥行き感があるので、水中世界を“観る”のではなく“入り込む”感覚で楽しめます。鯉は2010年に中小企業庁が「JAPANブランド」に認定した新潟県産で、今回登場するのは新潟県中越地震から復興した旧山古志村（現・長岡市山古志地域）や小千谷市で養鯉されたものです。鯉と四季という世界に誇る日本の魅力を、国際色豊かな六本木から改めて発信します。

※プロジェクションマッピングとは、スクリーンではなく立体物に映像を投影し、立体物の質感や形状を視覚的に変化させる新しい映像表現方法です。



ZONE
2

水中生物による美の競演

「アート・アクアリウム・ギャラリー」

毎回人気の「アート・アクアリウム・ギャラリー」が今年も登場します。水中生物の美しさ、不思議さ、おもしろさは、自然界が生み出した生きる芸術作品です。生命体の個性を際立たせるため、より高いレベルで生体管理や水質管理を行っています。両側の壁面にレイアウトした計23本の水槽は圧巻です。シンプルなのに華やかで、ほかのどこにもない「スカイ アクアリウム」を象徴するアーティスティックな水中造形をご鑑賞ください。



ZONE
3

水の中に入る爽快感を味わえる

「オアシスブルー・プラネット」

会場に一歩足を踏み入ると、そこはゆらゆら揺れる青い水の中。その水の中に、さらに“水の惑星”地球をイメージした直径1.5mの球体水槽（アース・アクアリウム）があるという不思議な空間です。周りには真っ白なウーパールーパーと透明なクラゲが漂っています。ここで感じる水の揺らぎは人工のものではなく、目の前にあるアクアリウムの水の揺らぎを空間全体に拡張したものです。また、水の青さは濃淡が変化し、まるでダイビングしているかのような感覚に陥ります。シリーズ史上最も清涼感あふれる空間です。なお、青い水がピンク色に染まる「恋人の聖地」*東京シティビューならではの、カップル応援タイムも用意しています。

※NPO法人地域活性化支援センターが、プロポーズにふさわしいロマンティックなスポットとして認定した観光地域の総称。東京シティビューは2007年に選定されています。



展望台
エリア

東京スカイツリーと東京タワーがそびえる空を魚が泳ぐ

「フォール・アクアリウム」

東京スカイツリーと東京タワーを望む展望台エリアに、水が溢れる、長さ3mの横長の水槽が登場します。昼間はクマノミをはじめとする色とりどりの魚たちが摩天楼そびえる空を、夜は煌めく夜景の中を泳いでいるように見えます。「スカイアクアリウム」でしか観られない、ファンタジックな景観です。もちろん、写真撮影もできます。



※画像は全てイメージです。

「スカイ アクアリウム」をイメージした、味も見た目も涼やかな、夏にぴったりのオリジナルメニューを期間限定で提供します。



氷製ソースのパスタ(フード)

氷の冷たさが口いっぱいに広がるガスパチョソースと魚介のカッペリーニ。シャリシャリした氷とトロンとしたウニの食感が楽しい、新感覚の“氷製”パスタです。

価格：未定

場所：マドラウンジ(東京シティビュー内)



アクアリウム(カクテル)

リゾートの海をイメージしたプレミアム・シロックウォッカのアップルモヒート。フレッシュなリンゴとライムにミントの香りを加え、さっぱりとした爽快なカクテルに仕上げました。

価格：1,000円

場所：マドラウンジ スパイス(東京シティビュー内)



サンセット・ビーチ(スムージー)

テーマは南国のビーチに沈み行く夕日。ココナッツシロップとトロピカルフルーツの王様、パイナップルとマンゴーをたっぷり使ったミルクベースのスムージーです。

価格：R 750円/L 850円

場所：サンセットカフェ(東京シティビュー内)



総合プロデューサー **木村英智**(きむら・ひでとも)

アートアクアリウムプロデューサー。株式会社エイチアイディー・インターアクティカ代表取締役、アクアリウムクリエイターズオフィス Srl CEO。「アート」「デザイン」「インテリア」と自身がライフワークとして追及している「アクアリウム」を融合させるアクアリストの第一人者。変幻自在な水槽デザイン、ハイレベルな水質調整、知り尽くした生体管理と組み合わせられる「アートアクアリウム」という独自の分野を確立させる。展覧会におけるインテリア、ライティング、映像、音楽、空間構成も自らデザイン・監修する。

現在では、アクアリウム クリエイターズ オフィスの本拠地をイタリア ミラノに移し、「アートアクアリウム」という自身が創った日本発の新しい分野をヨーロッパから世界に向けて発信すべく活動中。また、環境保全活動も積極的におこなっており、米国フロリダの世界最高レベルの海洋学研究所であるハーバープランチ海洋学研究所のアクアリウムマテリアルブランド「ORA」を日本に展開させ、アクアリウムと自然環境保護を結びつける活動や、オーシャンアスリート達と共に取り組む海の自然を考える活動「One Oceanプロジェクト」なども盛んに行っている。

「スカイ アクアリウム2011」イベント概要

イベント名…………… 天空の水族館「スカイ アクアリウム2011」

開催期間…………… 2011年7月15日(金)～9月25日(日)

会場…………… 東京シティビュー(六本木ヒルズ 森タワー52F)

営業時間…………… 11:00～22:00 / 金・土・祝前日は11:00～23:00
(最終日9月25日は17:00まで)※最終入館は閉館30分前。

料金…………… 一般 2,000 円 / 高校・大学生 1,500 円 / 4 歳～中学生 800 円
※展望台の入館料を含みます。

主催…………… スカイアクアリウム実行委員会

後援…………… Oceans Reefs and Aquariums Japan

総合プロデューサー …… 木村英智(株式会社エイチアイディー・インターアクティカ 代表取締役)

サウンドプロデューサー …… 井出祐昭(有限会社エル・プロデュース 代表取締役)

特別協力…………… エイチアイディー・インターアクティカ、アクアリウム クリエイターズ オフィス

協力…………… アクアプロジェクト、Anonimo Design、エアアロマ・ジャパン、EPSON、MMC企画レッドシー事業部、エル・プロデュース、カミハタ、カラーキネティクス・ジャパン、キョーリン、国際錦鯉普及センター、サウンドインターナショナル、水作、東京コミュニケーションアート専門学校、ドクタースリー、日本動物薬品、バイコム、ParadiseJam inc.、ヤマハ



東京シティビュー基本情報

高さ11mを超える吹き抜けと、360度ガラス張りの開放感あふれる空間に、ショップやカフェを併設した都市型展望施設です。また、オープンエアの展望施設として日本一の高さを誇る森タワー屋上「スカイデッキ」では、東京上空を吹き抜ける風や都市の息吹を肌で感じられます。



52F展望フロア(スカイギャラリー1)からは東京タワーと東京スカイツリーを同時に見る事ができます。



オープンデッキの展望台としては日本一の高さを誇るスカイデッキは東京上空のさわやかな風を感じる事ができます。

施設名称 …………… 東京シティビュー

所在地 …………… 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー52F／屋上

営業時間…………… 10:00～23:00(最終入館22:30)／金・土・祝前日は10:00～25:00(最終入館24:00)

入館料 …………… 一般 1,500 円 / 高校・大学生 1,000 円 / 4 歳～中学生 500 円

※森美術館(53F)にも入館できます(展示替え等で閉館中の場合を除く)。

※スカイデッキへの入館は別途300 円が必要です(中学生以下無料)。

※スカイデッキの営業時間は11:00～20:00(最終入館19:30) 天候不良等の理由により予告なく閉鎖する場合があります。

TEL 03-6406-6652 FAX 03-6406-9355

e-mail tcv-info@mori.co.jp URL <http://www.roppongihills.com/tcv/>

本件に関するお客さまからのお問い合わせ先

●東京シティビュー

TEL 03-6406-6652

FAX 03-6406-9355

e-mail tcv-info@mori.co.jp

URL <http://www.roppongihills.com/tcv/>

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

●森ビル株式会社 東京シティビュー広報担当 山村／内田／水口

TEL 03-6406-6173 FAX 03-6406-9355

e-mail tcv-pr@mori.co.jp

●株式会社ブラップジャパン 江川／町田／川上

TEL 03-3486-7355 FAX 03-3486-7507



2010年開催時の様子

Roppongi Hills Summer 2011

六本木ヒルズは、夏の定番となったビアガーデンや太極拳、盆踊りをはじめ、親子でお楽しみいただけるキッズ向けワークショップも多数開催します。暑い夏の日々を、楽しく、そして涼しく過ごしていただける様々なコンテンツをご用意し、夏の思い出づくりのお手伝いをいたします。

●森ビル株式会社 タウンマネジメント事業室(六本木ヒルズ PR)

[担当] 松島／秋田／長田 [商業担当] 平田

TEL 03-6406-6382 FAX 03-6406-6483

